

令和5年度 第1回三重県地域医療対策協議会 議事概要

- 1 日時：令和5年7月14日（金）19時00分～20時30分 オンライン開催
- 2 出席委員等：伊藤会長ほか委員23名
- 3 議事

議題1 第8次医療計画における医師確保計画（第8次・前期）の策定方針について

<事務局説明>

「三重県医師確保計画」の策定について（案）（資料1-1）

医師確保計画の効果の測定・評価（案）（資料1-2）

第8次医療計画における医師確保計画（第8次（前期）医師確保計画）の策定方針について（資料1-3）

<委員の意見>

- 医師少数区域等の目標医師数は、どのように設定するのか。
⇒地域医療構想区域別に、目標医師数の案を示し協議いただく予定。
- 厚労省が算定した三重県の目標医師数が、現状の医師数より少なくなっているのはなぜか。
⇒厚労省の示す目標医師数については、下位3分の1を脱するために必要な医師数であり、将来的な人口の減少等も加味して算定されているため、三重県の現状とは合っていないところがある。
- 三重県の場合、ほとんどの地域で、2035年までに医療需給が均衡する推計があり、将来的に医師の供給が上回ることが予想される。現状の医師不足への対応はもちろん必要だが、将来の課題についても検討していく必要がある。
- 目標医師数の設定にあたり、診療科ごとの偏在の解消についても検討していくのか。
⇒診療科偏在についても解決すべき問題と考えている。その前段階の対応として、まずは医師の総数確保を図りたい。

<協議結果>

本案について、原案どおり承認された。

議題2 第8次医療計画におけるへき地医療対策の方針について

<事務局説明>

第8次医療計画におけるへき地医療対策の方針について（資料2）

<委員の意見>

- 三重県のへき地医療においては、どのようなことが問題となっているのか。
⇒患者数が減少しているので、医師の配置についても工夫する必要がある。常勤での配置は困難なこともある。
- へき地医療拠点病院のオンライン診療等の取組（代診医派遣）は、具体的にどのように進めていくのか。安全性の担保が必要である。
⇒オンライン診療等について導入の可能性を図るため、へき地医療関係市町、へき地医療拠点病院と検討を始めたところであり、D to P with N（患者側に看護職員が同席し、遠隔地にいる医師が診療を行う）等、具体的にどこまでの診療が可能かについて、安全性も含め今後検討していきたい。

- へき地医療に係る医師の働き方改革の影響に関し、へき地の医療機関が宿日直許可を取得しているか等、把握しておくべきである。

<協議結果>

本案について、原案どおり承認された。

議題3 へき地医療拠点病院の指定について

<事務局説明（補足説明：ヨナハ丘の上病院院長）>

へき地医療拠点病院の指定について（資料3）

<協議結果>

本案について、原案どおり承認された。

議題4 基幹型臨床研修病院の新規指定に係る報告について

<事務局説明>

基幹型臨床研修病院の新規指定に係る報告について（資料4）

<協議結果>

本案について、原案どおり承認された。

その他

<事務局説明>

三重大学医学部地域枠における診療科指定について（報告）（参考資料2）

⇒本案について、事務局から報告を行った。

以上